



地域×キャリア
デザインプログラム
最終報告会

横浜国立大学1年
畑結菜

参加した理由

町おこしに興味があった→地方の視点から得られる学び・現状を知りたかった

都市の勉強をしているから、地方の「暮らし」を少しでも知ることによって今後の学習がより深いものになると思った

「雫石」である理由：地方の「暮らし」を体感できる、交流に重きを置いたプログラム

SNSなどを見ていて活発で楽しそうな町だと感じた

活動報告 1日目

- 盛岡セイコー工業株式会社を訪問

スタジオ見学 こだわりや技術の高さを知る

齋藤さんとの座談会 ものづくりの奥深さを知る

自分の人生に生きる知見を得る

- 町長と面談

(交流会に参加)



インターンを通して感じたこと・考えたこと

職人さん（斎藤さん・坂内さん）のお話を聞いて

地域の方々との交流を通して

雫石町を知って



今後

都市の学習に活かせること

自分の将来について



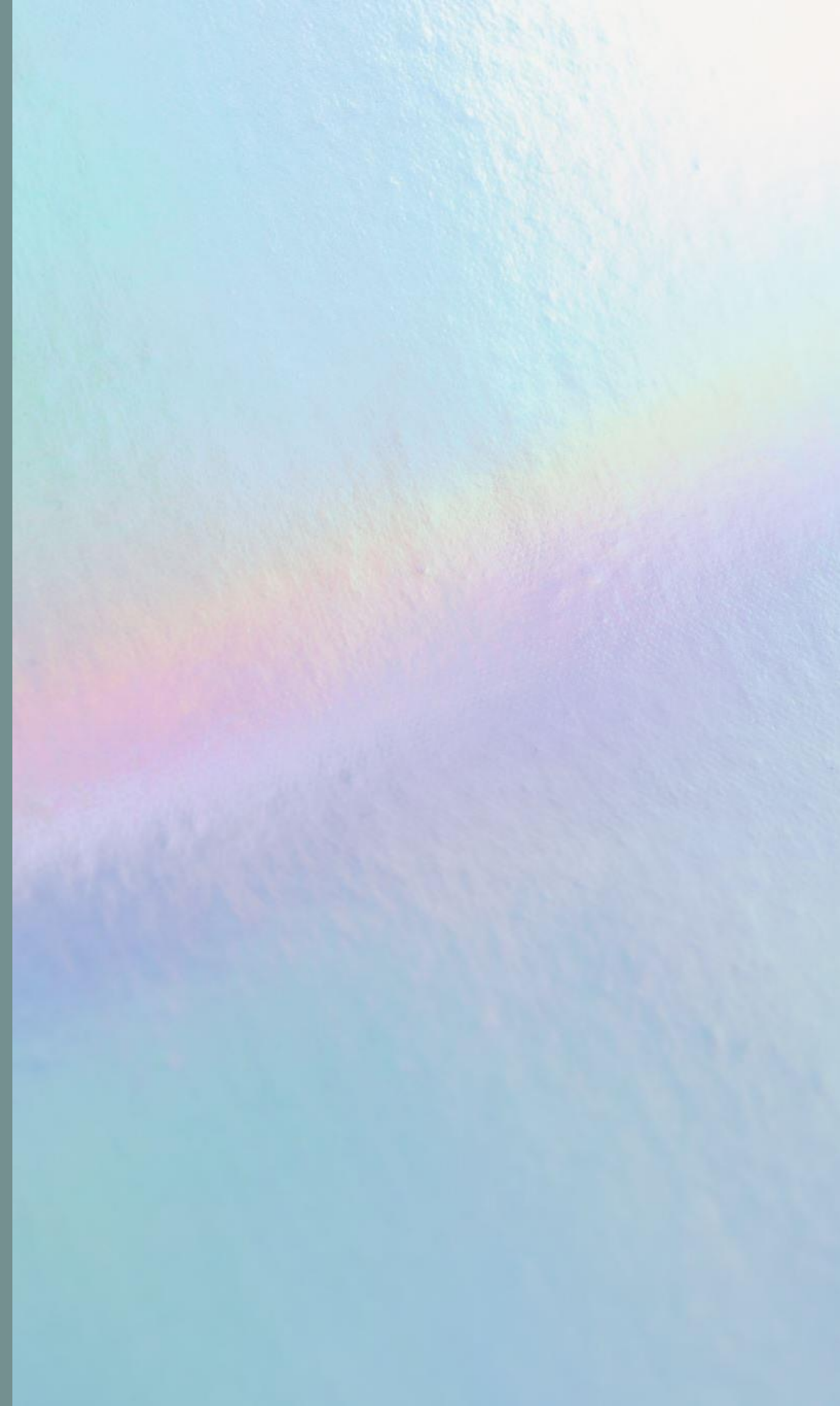


栗石町へ

6日間大変お世話になりました！！

雫石町に触れて

鈴木里美



参加理由

- 自然の中での暮らしに興味があったから
- 自然がとても綺麗だから
- プログラム内容に興味があったから
- 自分自身の経験値になると思ったから

小岩井農場 活動報告



- 冬フェスタの意見交換、農場視察。
→ 広い年代に楽しんでもらえる企画を構想
- アーチェリーを体験！
→ スポーツも楽しめて友達同士できたら楽しそう！
- 昼食は、小岩井農場さんで作られた食材を利用した料理を！
→ 地産地消で食料自給率にも貢献できる。



YU-YUファーム 活動報告

- 乗馬体験、馬のお世話
→馬に関わる職業に興味を持ってもらえる！
ホースセラピーによって精神機能の回復に繋がる。
- 流鏝馬体験
→伝統芸能を若い世代にも広めていける。
- 重機体験
→重機を使う職業に興味を持ってもらえる。

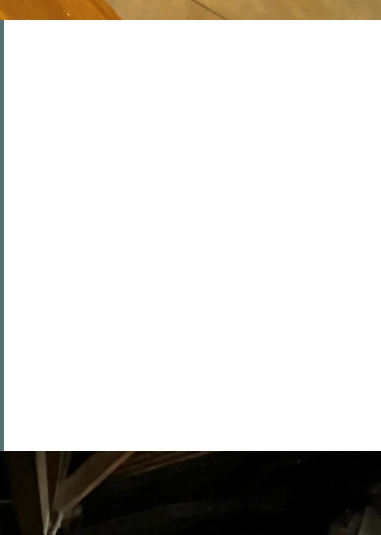


課題点

- どちらも大量の堆肥が出る。その再利用に苦戦していた。
 - バイオマス発電や地域の農家に堆肥として活用してもらおうなど
 - 環境のことを考えた取り組みが大切。
- YU-YUファームは、若い世代の地元離れも相まって少ない人数で運営していた。
 - Uターン、Iターンを利用した人材育成、派遣が重要。

これからの抱負

- ・ 自然の力を借りて私たちは生活できている。そのため、自然に頂いたものを少しでも還元するために日々の生活を見直していきます。
- ・ チャレンジする精神を忘れず、やりたいと思ったことに全力で取り組む。
- ・ 雫石で学んだこと、好きなところを周りの人に伝える。



キャリアデザインプログラム報告会

横浜国立大学 1年 窪澤茅亜

参加した理由

いろいろな業種の仕事をする方々と交流や体験を通して自分の視野を広げたい
雫石に住む方々との交流を通して都会では築けないような人間関係を築きたい

3日目の活動





インターンを通して感じたこと

- 雫石の自然のきれいさ
- 町の人々のあたたかさ
- 既存ものとは異なるアイデアをだす難しさ
- 色々なことを体験し、好きなものを見つける大切さ

今後の抱負

栗石町へのひとこと

The background features abstract, organic shapes in shades of blue and pink. There are also thin, light-colored lines that form loops and swirls, adding a decorative touch to the overall design.

**THANK
YOU**



インターンシップ 活動報告

駿河台大学 堀内美優

2025年9月8日



志望理由

- ・このインターンシップを通して自身の新しい知見を得る為
- ・人口減少と過疎化の最前線を体験・学習し、地元に戻元する為



■ 4日目活動内容

- 01 移住者交流会
- 02 軽トラ市事前準備

01

移住者交流会



内容

- 1.ピザ作り
- 2.ラベンダーの香り袋作り



移住者交流会に参加して感じたこと



・ピザや香り袋を作りながらリラックスした空間で雫石町に移住したきっかけや決め手、実際の暮らしの様子を詳しく聞くことができ、地方で暮らすことのビジョンがよりはっきりと理解できた。

・定期的に移住者交流会を開催することで移住者間のネットワーク形成に大きな影響を与えていると感じた。子育て家庭が多く参加していたので養育者同士が繋がることができ、子育てに向いている環境が作り出されてると感じた。

02

軽トラ市事前準備



軽トラ市では「WA ROCK」のワークショップを出店

WA ROCKとは...

「WA ROCK JAPAN(ワロック ジャパン)」とはもともとは西オーストラリアで生まれた自然遊び。それを秋田県北秋田市阿仁(あに)地域で広めたものです。

名前の由来「WA」とは「Western Australia」を略したもので、日本では始める時に「WA」を日本語の「輪(ワ)」として、WA ROCK(ワロック)と呼んでいます(西オーストラリアではダブリュエーロックスと呼ばれています)。

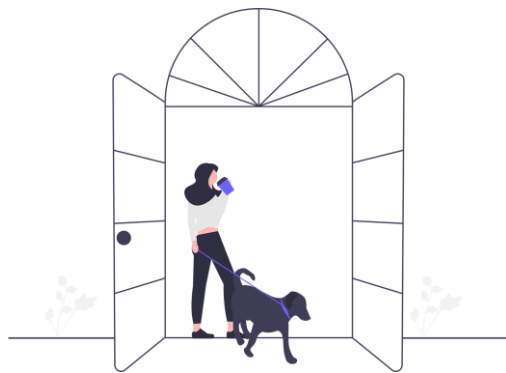
あなたが描いたWA ROCKが人と人、地域と地域をデザインするようにつながっていく遊びです。」

引用(<https://warockani.localinfo.jp/pages/2403220/warockani>)

02

ワークショップにおける目標設定

このワークショップで達成したいことを自由に話し合い3つの目標を設定しました。



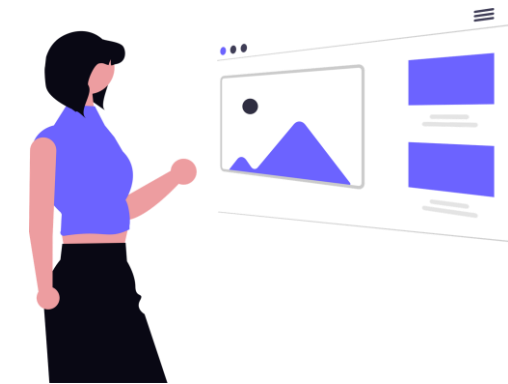
知ってもらうこと

岩手・雫石のいいところを
押し出しながら石に絵を描いてもらう(私達が実際に行ったところ雫石・岩手について知っているいいところを石に描いて説明する)



発信してもらうこと

参加して頂いた参加者さんにSNSに
アップしてもらう



今後に生かす(評価)

- 出口調査
- ・WA ROCKをやってみての感想(ポストイットに書いてもらう)
 - ・どこからきたのか、年齢と性別をシールで貼ってもらう



軽トラ市事前準備をして



- ・設定した目標の達成方法を考えることに時間がかかった
- ・設定した目標にこのインターンシップに参加した目的を落とし込むことが難しかった

10

まとめ

- ・この6日間を通して参加目的であった新たな知見を得ることは様々な人と関わること・体験することによって十分に達成できた
- ・沢山の人の温かさと自然の豊かさを感じ、都心とは異なる田舎暮らしの良さを改めて実感した
- ・地域ネットワークの点においては大きな課題はない
- ・学校教育や交通の便利さなど若年層(主に高校生以降)が雫石町に残る要素が少ないと感じた





SHIZUKUISHI vlog
Day4

地域×キャリアデザインプログラム 活動報告

@雫石町

2025 9月3日～9月8日

岩須 謙人

きっかけ

学部副専攻プログラム「地域交流科目」

>地域課題実習Ⅰ～Ⅵ

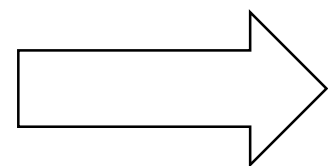
>岩手らばーず

>地域×キャリアデザインプログラム

>雫石町

目的

体験 → 持ち帰る → 共有（岩手らばーず内）
↳ PR（開いた場）



還元方法を設計、実行

5日目の内容

元祖しずくいし軽トラ市で WA ROCK 体験を出店、アンケート調査の実施

5日目の目標

アンケート調査を実施：n=300

石の放出：100個以上

実践内容

店頭での呼びかけ、体験の案内・サポート

アンケートについては店頭での呼びかけのみならず
よしゃれ通り入り口で自ら訊きに行く

達成したか

アンケート調査を実施：n=121

石の放出：50くらい

次回に生かすとすれば

目標を達成できなかった。

しかし、ほぼすべての時間、
お客さんが代わる代わるテントの下で絵を描いていたため、
目標が高すぎたことも考えられる。

本当に目標を達成するためのアイデア

- ・ テントと椅子、机の数を2から増やす
- ・ 大人の方の興味を引き付けられるような
仕組みを作る

(WA ROCKを超大量に作ってフォトスポット
化する「この作品の一部を作ってみませんか？」
など)

- ・ 呼び込み、アンケート訊きに行くをもう少し頑張る

5日間過ごしてみても

たくさんの体験  雫石のことを知れた気がする

還元するための方法

1. 役場への提案

- ・インフルエンサーを誘致 紹介してもらう

2. 自分でできること<今考えているもの>

- ・友達とまた雫石町に来る
- ・雫石町の例を引く

3. 自分でできること<これからのもの>

- ・体験を横浜に持って帰り、岩手らば一ずで共有
→新しい視点を手に入れる

謝辭